



七尾中学校 学校だより

# 七尾の丘

Seven tails Story 七つの尾の物語を創り上げよう！



マスコット“七王”(ななおう)

第2号

令和4年4月11日

廿日市市平良二丁目2-34

TEL:0829-32-8200

## 126名の新入生を迎えました～令和4年度入学式～

4月11日(月)、暖かい春の陽気の中、令和4年度入学式を行いました。コロナ禍にあって、無事に新入生を迎えられたことは、大きな喜びです。緊張した面持ちの新入生を見ると、私(校長)も身が引き締まる思いになります。では、入学式の式辞(抜粋)をご覧ください。

七尾中学校にそびえるクスノキが、春の日差しを浴びて、新入生の皆さんを迎え入れています。本日、コロナ禍であっても、保護者の皆様をお迎えし、入学式が挙行できましたことに胸をなでおろしている次第です。

ところで、新入生の皆さんは、七尾中学校の校訓をご存知ですか。校訓は、体育館の壁に掲げられている、「感・考・行」です。この校訓には、「感じて動ける人になってほしい」、「しっかり考え、主体的に行動できる人になってほしい」という願いがこもっています。私は、この校訓を活かすために、大切にしてほしいことが3つあります。

1つ目は、「あいさつ」です。七尾中学校には、さわやかな挨拶をしてくれる先輩がたくさんいます。さわやかな挨拶ができる人は、輝いて見えます。そして、相手に安心感を与えます。「感じて動く」、その原点は「あいさつ」です。皆さんの力で、七尾中学校にあいさつの花を咲かせてください。

2つ目は、「掃除」です。七尾中学校では、先輩たちと共に掃除をします。掃除を通して、協力することの喜び、よりよい学校づくりに参画する喜びを、学んでください。掃除は、「感・考・行」を実行する大切な時間です。

そして、最も大切にしてほしいことが「授業」です。授業では、学習内容や学習方法、学習規律を学びます。小学校の授業内容に比べると、ずっと難しくなりますが、その分、分かった時の喜びや、達成感は大きなものになります。先生方や、仲間と協力しながら、学習に臨み、分からなかったことが分かるようになる。その姿こそ、「感・考・行」そのものです。先生方や、仲間と共に難問にチャレンジしようではありませんか。

ところで、授業には様々な形があります。教室で学習するのも授業なら、皆さんの資質・能力を発揮するという点では、クラスマッチや文化部発表会のような行事も授業です。そして、今、行っている入学式も授業です。そこで校長先生から1問だけクイズを出します。「2に一本線をひいて1にしてください」。もう一度言います。「2に一本線をひいて1にしてください」。保護者の方も考えてみてください。答えは「 $1^2$ 」です。保護者の皆さんは、このクイズの答えが「 $1^2$ 」であることをご理解いただけたと思います。しかし、ここにいる大部分の新入生のみなさんには、この数字が(「 $1^2$ 」)がなぜクイズの答えになるのか分からないのではないのでしょうか。これが、小学生と中学生の違いです。中学校1年生の数学が理解できるようになれば、クイズの答えが「 $1^2$ 」であることが理解できます。「知らないことを知る」「分からないことが分かるようになる」「でないことができるようになる」。みなさんは、授業を通して「やればできる」という成功体験を味わい、授業の中で、校訓「感・考・行」を表現するのです。そのことが、皆さんの進路を切り拓くことにつながります。共に学びましょう。

### 【生徒インタビュー】

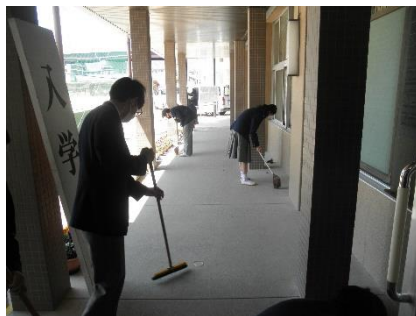
入学式が終わったばかりの新入生に、現在の心境をインタビューしました。みんな、中学校生活にドキドキのようです。

- 1-1OC： 入学式が終わっての心境ですか。そうですね。部活動が楽しみです。テニス部に入りたいと思っています。勉強は、算数（数学）が苦手なので頑張りたいと思います。
- 1-2NH： 入学式が終わって、気持ちは最高です。まあ、これまで色々ありましたが、早速、いろんな人と友達になれたからです。中学校生活が楽しみです。
- 1-3MA： 入学式が終わっての感想ですか。眠たいです。昨日、宿題を夜中の1時までがんばりましたから。（ゲームも少し、しました。）部活動は柔道を頑張ります。
- 1-4YA： 新しいクラスで知らない人がいっぱい不安です。部活動は、美術部に入りたいと思っています。算数（数学）が苦手なので不安です。

こんにちは、七尾中のマスコット「七王」です。僕も、七尾中生徒の仲間です。よろしくお願いします。インタビューを聞くと、1年生の仲間は、「うれしい気持ち」と「不安な気持ち」が入り混じっているようですね。そんな気持ちのことを「ワクワク」といいます。この「ワクワク感」を忘れないでください。不安な学習も、楽しみな部活動も、どちらもあわせて中学校生活です。七王も、1年生の活躍が楽しみです。一緒に中学校生活を送りましょう。



## 見えないところで誰かが、式の準備してくれています



入学式を迎えるまでに、上級生がいすを並べ、校内を清掃してくれています。一見、当たり前の光景ですが、この光景を1年生は見ることはできません。コロナ禍で、在校生は入学式に参加できませんが、新入生を迎える準備を丁寧に行ってくれました。学校には大きなイベント

トがいくつかありますが、それらを成功させるために、見えないところで、頑張ってくれている仲間がいます。時には裏方になり、時には表舞台にも出ることができる。それが伝統として受け継がれていけば、七尾中学校は、持続発展する学校へと進化し続けると思います。

## トピックス

4月10日（日）、千葉ロッテマリーンズの佐々木朗希投手が、完全試合を達成しました。13者連続三振、1試合19奪三振という、二つの日本新記録というおまけつきです。試合後のインタビューで、印象に残ったのは、佐々木投手の「メンタルをコントロールした」という言葉です。

佐々木投手は、10歳の時、東日本大震災に被災し、父と祖父母を失い、実家も流されました。肉親を亡くした悲しみ、財産を失った絶望感は、言葉では言い表すことができないものだと思います。だからこそ、「メンタルをコントロールした」という言葉に重みがあります。悲しみや絶望感を「生きる力」に変えることは、並大抵のことではありません。しかし、それを、野球を通して、「生きる力」に変えようとしている佐々木投手に敬意を払わずにはられません。完全試合達成というニュースは、単にプロ野球の記録にとどまるのではなく、私たちの生き方にヒントを与えてくれるものだという気がしてなりません。

・学校だよりなどで、生徒や保護者の写真や氏名を掲載することがあります。また学校だよりはホームページに掲載します。写真や氏名の掲載を望まれない方は、その旨、学校までお知らせください。